

佐高発議第 1 号

バトンでつなぐ佐倉の安全

小学校学区の安全確保に関する意見書

近年、通学路における倒壊の危険がある構造物や交通事故など、児童の安全を脅かす事例が報告されている。こうした状況を受け、私たち佐倉高校 1 年 B 組 9 班では、佐倉高校に身近な佐倉小学校の学区を対象に、次の観点から安全度の調査と危険箇所のマッピングを行った。

- ・ブロック塀の老朽化・傾き・ひび割れ・高さ（背を越える）
- ・見通しの悪さ（死角、街灯の不足）
- ・交通量・車の速度・歩道の幅など

調査の結果、以下の 3 点の課題が明らかになった。

- ・危険な箇所が放置されていること
- ・街灯の数が少なく、日が沈んだ後の安全性が低いこと
- ・地域の課題を住民同士で共有する仕組みが不足していること

私たちは、地域の未来を担う子どもたちの安全を守ることが、持続可能なまちづくりの第一歩であると考え、以下の事項を提案する。

記

1 危険箇所の優先的改善

調査により判明した危険箇所（老朽化した塀、死角の多い交差点など、穴の空いた側溝）について、早急な対策を講じること。

2 道路の異常通報サービスの普及啓発

令和 5 年 8 月より導入されている、国土交通省の L I N E 通報アプリを活用した道路の破損・汚れ・落下物等の異状通報サービスについて、地域住民への周知と利用促進と危険な箇所の共有を図ること。そのために、報告された危険な箇所を L I N E などを用いて市民に伝えることのできるような仕組みをつくること

3 マイシティレポ（My City Report）の導入

千葉県、印西市、白井市、鎌ヶ谷市など、全国 30 以上の自治体

で導入されている市民協働投稿サービス「マイシティレポ」を佐倉市でも導入し、地域の課題や不具合を市民がスマートフォンで報告・共有できる仕組みを整備すること。

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

提出者 千葉県立佐倉高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

佐高発議第２号

ひよどり坂をバズらせよう！に関する意見書

佐倉市の歴史ある「ひよどり坂」は、市民に親しまれている一方で、暗く危険な箇所が多く、市外への認知度が低いという課題がある。

こうした状況を改善し、地域の魅力を広く発信するため、ひよどり坂に提灯を飾り、地域の小中学校に協力して色付けや文字を書いてもらうなど、こどもたちが関わる楽しい空間を演出する。飾り付けは地域の大人が担当し、安全性を確保する。

また、イベントの告知や魅力発信にはInstagramを活用し、若者をターゲットに写真や動画を投稿し、コメントやDMを通じて双方向のコミュニケーションを図る。

さらに、ポスターやチラシなどのアナログ広報も組み合わせ、視覚的インパクトを重視したデザインで地域に根差した情報発信を行う。

これらの取り組みにより、若者や市外からの来訪者を増やし、佐倉市の魅力を広く発信できるだけでなく、地域のこどもたちが関わることで郷土愛を育み、安全性の向上と観光資源の活用による地域活性化が期待される。

令和７年１２月１６日

提出者 千葉県立佐倉東高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

佐倉発議第3号

桜 e S p o r t G a m i n g

～高齢者へ健康促進・地域交流の場を～に関する意見書

佐倉市では少子高齢化が進み、高齢者の健康維持や地域経済の活性化が大きな課題となっている。さらに、新型コロナウイルス流行後、地域交流の場が減少し、孤独を抱える高齢者が増加している現状がある。こうした状況を改善するため、最新のゲーム機器を活用した「桜 e S p o r t G a m i n g」を導入し、楽しみながら健康促進を図るとともに、世代を超えた交流の場を創出することを提案する。

この取組では、まず高齢者を対象に最新のゲーム機器と快適な環境を提供し、eスポーツを通じて認知機能や運動機能の維持を支援する。加えて、地域の中高生をボランティアとして募集し、機器操作や交流をサポートすることで、若者には最新機種を体験する機会を、高齢者にはこどもたちとの交流による孤独感の軽減をもたらす。

さらに、佐倉産の食材等を生かした昼食を提供し、地産池消を推進することで地域経済にも貢献できる。

これらの取り組みにより、地域交流の活性化、高齢者の第二・第三の居場所の創出、数十万円から百万円規模の経済効果、そして高齢者の孤独や健康課題の解決が期待される。佐倉市の未来を見据え、地域の絆を深めるこの事業の実現を強く求める。

令和7年12月16日

提出者 千葉県立佐倉東高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

佐高発議第4号

全ての人が快適に移動できる、思いやりに満ちたユニバーサルなまちづくりを推進するための意見書

臼井駅周辺では、歩道の幅が狭く、視覚障害者誘導用ブロックの不足、急なスロープや段差、側溝ふたの不備など、移動に支障を来すバリアが複数存在している。これにより、車いす・シルバーカー・ベビーカー利用者や視覚障害者の安全かつ円滑な移動が妨げられている。こうした現状を改善し、誰もが安心して移動できるまちづくりを進めることは、地域社会の平等性と安心感を高めるために不可欠であるため、以下を提案する。

記

- 1 歩道の幅を十分に確保し、車いす等の利用者同士が安全にすれ違える環境を整備する。
- 2 視覚障害者誘導用ブロックを増設し、臼井駅ロータリーから駅階段・エスカレーターまで安全な誘導路を確保する。
- 3 歩道・車道間の段差を解消し、スロープの勾配を緩やかにすることで、車いすやベビーカー利用者の通行を容易にする。
- 4 側溝ふたを交換し、キャスターや白杖が隙間に入り込まない構造にする。

令和7年12月16日

提出者 千葉県立佐倉西高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

佐高発議第 5 号

高校生が安心して集える屋内コミュニティスペース設置に関する意見書

現在、学校以外で高校生が心を許して集まれる場所は少なく、公共の場所では配慮が必要である。また、電車の待ち時間を過ごせる場所がなく、飲食店はあるものの、利用には費用がかかり、経済的負担となる場合がある。さらに、雨天時を考えると屋内スペースの確保が必要とされている。

こうした課題を解決するため、駅前の空きテナントを活用し「高校生のためのフリースペース」を設置することを提案する。デザインは市内高校生の美術部などが協力し、自分たちの居場所を自分たちで作る活動とする。利用は佐倉市内の高校生に限定し、初回利用時に学生証を提示して利用券を発行することでトラブル防止を図る。さらに、中学生との交流イベントなども定期的に開催し、地域のコミュニケーションを促進する。

この取り組みにより、駅前での長時間滞在が減り、一般の方とのトラブルが減少し、学生の安全・安心が守られ、友達との交流の場が確保される。佐倉南高の生徒へのアンケートでは、半数以上が「そのようなスペースがあると助かる」と回答しており、高校生の悩み解決に寄与すると考える。

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

提出者 千葉県立佐倉南高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

「正門前が心配！」～生徒、職員、中学生、近隣住民のための正門前環境向上の提案～に関する意見書

本校正門は緩やかなカーブの坂の途中にあり、正門から十～二十メートルの距離に坂の上下それぞれに佐倉南高校停留所がある。停留所は生徒、職員、近隣住民が利用している。さらに、この道は自転車通学の根郷中学校の生徒も利用している。

近年、この道は抜け道として利用する車が増え、特に下り坂ではスピードが速く、カーブの中央寄りを走行する車が多い。歩道は片側のみで、正門の反対側は木が生い茂り、見通しが悪くなっている。

こうした環境により、停留所で乗降する際や正門に入る際に、車の死角から飛び出す危険があり、事故のリスクが高まっている。このような状況では、停留所で乗降する際に停車中のバスの前後を通過することで、坂の上下から来る車の死角に入り、飛び出し事故の危険がある。

また、正門に入る際や自転車通行時にも危険が伴う。そこで、下記の対策を提案する。

これらの取組により、生徒、職員、中学生、近隣住民、そして運転者や同乗者の危険を回避できる。また、通行に対する不安が減り、地域全体が穏やかな気持ちで過ごせる環境が整う。

記

- 徐行を促す標識や地面への標記の設置
- 横断歩道の標記
- 減速ロードハンプの設置
- 歩道の確保
- 停留所の整備
- 木の伐採による視界確保
- 車道の拡充

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

提出者 千葉県立佐倉南高等学校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様

佐高発議第 7 号

佐倉のおいしいと楽しいを集めよう！食と歴史のフェス開催提案に関する意見書

佐倉市には、歴史民俗博物館や城址公園、風車、ひよどり坂、麻賀多神社など、魅力的な歴史的・文化的資源や自然環境が豊富にある。

また、味噌や蔵六餅、お茶などの特産品、秋祭りや花火大会、チューリップ祭りといったイベントも存在する。

しかし、これらの認知度は今後さらに高める余地があり、活用の可能性が残されている。

この課題を解決するため、私たちは佐倉市の特産品を活用した「食フェス」の開催を提案する。

下記の内容を盛り込み、佐倉市の魅力を広く発信し、多くの来訪者を呼び込むことで、地域の活性化、店舗や施設の充実、住みやすいまちづくりの促進が期待される。

記

- 1 ヤマニ味噌、ハーブソース、レンコンなど佐倉市の特産品を使ったB級グルメを集める。
- 2 来場者による投票でグランプリを決定する。
- 3 飲食店だけでなく、市内5校の高校生もアイデアを出して出店できる仕組みを検討する。
- 4 開催場所は城址公園とし、歴史民俗博物館・武家屋敷・ひよどり坂などのスポットを巡ると特典がもらえる仕組みを導入する。
- 5 宣伝には、風車・城址公園の自然・ヤマニ味噌の蔵など「映える写真」を活用する。
- 6 SNSでハッシュタグを付けて発信し、拡散を促進する。
- 7 成田空港に近い立地を生かし、外国人観光客向けに英語での情報発信やハッシュタグを追加する。

令和7年12月16日

提出者 印旛特別支援校さくら分校

佐倉市議会議長 村田 穰史 様